

第6回

日本集中治療医学会 北海道支部学術集会 ランチョンセミナー1

2022年

日時

10月29日(土) 12:05~13:05

会場

旭川大雪クリスタルホール 第1会場
〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目

多職種連携で形成する! PICSをアウトカムにおく 集中治療

座長

札幌医科大学医学部 集中治療医学 教授 升田 好樹 先生

演者

帝京大学医学部 救急医学講座 病院准教授 中村 謙介 先生



共催：日本集中治療医学会 第6回北海道支部学術集会
一般社団法人 日本血液製剤機構

JB

多職種連携で形成する! PICS をアウトカムにおく集中治療

帝京大学医学部 救急医学講座 病院准教授 **中村 謙介** 先生

【抄 録】

Post-Intensive Care Syndrome PICSが提唱されて10年、その概念は広く普及しPICSを最小限とする集中治療を行おうとする気運は大きく高まっている。

一方でエビデンスをもって提供すべきABCDEFGHバンドルの遵守率は全国的に未だ高くないことが明らかとなっており、またそれぞれのバンドル単体の介入の限界も示されているように、我々のPICS対策は次のステップへと進化をすべきフェーズにあると言える。少なくとも早期離床を含めたICUケアの提供のためには医師、看護師、理学療法士などの多職種連携は必要不可欠であり、さらに薬剤師、管理栄養士、臨床工学技士など多くの職種が参画し相乗効果をもってPICSに挑むべきといえる。本講演では至適な鎮静鎮痛・せん妄管理、積極的早期リハビリテーションと適切な栄養療法、PICS外来など重要なICUケアの取り組みと、DIC治療をはじめとするPICSに介入しうる治療方法を紹介し、その達成に多職種連携がどのように鍵になるかを話したい。



共催：日本集中治療医学会 第6回北海道支部学術集会
一般社団法人 日本血液製剤機構